

経営状況について

経営状況は、総収益96億7,871万3,658円に対し総費用95億3,981万6,468円となったことにより、損益は1億3,889万7,190円の純利益を計上した。これは、減価償却費や処理場費等の営業費用が、営業収益の主である下水道使用料を上回ったものの、補助金等を収益化した長期前受金戻入等の営業外収益により、純利益を計上したものである。

汚水処理原価については、212.68円、使用料単価208.78円となり、差し引き3.90円使用料単価が不足していることから、汚水処理費用を下水道使用料で賄っていない状況である。

(1) 経営収支(消費税及び地方消費税を除く)

(単位：円)

科 目		決 算 額
総 収 益	営 業 収 益	3,353,459,344
	営 業 外 収 益	6,258,441,407
	特 別 利 益	66,812,907
	計	9,678,713,658
総 費 用	営 業 費 用	8,365,424,680
	営 業 外 費 用	1,174,391,788
	特 別 損 失	0
	計	9,539,816,468
損 益		138,897,190

(2) 汚水処理原価及び使用料単価

当年度の有収水量1m³当たりの汚水処理原価及び使用料単価は、次のとおり。

(単位：円/m³)

項 目	令和3年度
汚 水 処 理 原 価	212.68
使 用 料 単 価	208.78
差 引 額	△3.90

※汚水処理原価＝汚水処理費÷有収水量

※使用料単価＝使用料収入÷有収水量

経営分析

経営分析は公営企業会計となって 2 か年度目の決算であり継続した分析は難しい状況となっている。

令和 3 年度決算では、収益性を見る純利益対総収益比率や流動性を見る流動比率、当座比率など数値が低い指標が見受けられること、長期的な安全性をみる自己資本構成比率が低く、固定長期適合率が高い状況となっている。

令和 3 年度の状況を踏まえ、持続可能な事業経営の推進のため、引き続き中長期的な視点から各指標の推移を注視していく必要がある。

(1) 財務分析比率等

① 収益性 … 利益の状況を見る指標

(単位：%)

指 標	期末	説 明
総収益対総費用比率	101.5	収益と費用の総体的な関連を示すもので、比率が高いほど経営内容が良好とされる。
営業収益対営業費用比率	40.1	営業収益とそれに要した営業費用とを対比して業務活動の効率を表したもので、比率が高いほど経営内容が良好とされる。
純利益対総収益率	1.4	総収益のうち、最終的に企業に残された純利益(損失)の割合を表したもので、値が大きいほどよいとされる。

② 流動性 … 短期的な支払い能力を見る指標

(単位：%)

指 標	期首	期末	説 明
流 動 比 率	8.4	5.1	短期の債務と、これを返済するのに必要な財源を比較する比率で、高いほど返済能力があり、経営の安定が保たれている。
当 座 比 率	8.3	5.1	流動比率より更に短期的な支払能力をみるもので、流動性の強い現金・預金や未収金などと流動負債の割合を表している。

③ 安全性 … 長期的な堅実性を見る指標

(単位：%)

指 標	期首	期末	説 明
自己資本構成比率	51.1	51.7	総資本とこれを構成する自己資本の関係を示すもので、高いほど経営の安全性が高いことを表している。
固定長期適合率	104.1	104.4	固定資産の調達自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきとの立場から、100%以下であることが望ましい。